

がん看護専門看護師

井沢 知子 大内 紗也子 田村 恵子
角 裕子 前滝 栄子 黒田 貴子
和田 千穂子 松山 直美 宮園めぐみ

がん看護専門看護師 (OCNS)

Oncology Certified Nurse Specialist



- 看護師経験5年以上（専門分野3年以上）、看護系大学院を修了し、専門看護師認定試験に合格した者
- 複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族・集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護分野の知識・技術を深めた者
- がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する

京大病院には現在9名のがん看護専門看護師が働いています！

▼がん看護専門看護師の変遷

1996年

日本看護協会が専門看護師の養成を開始

2006年

- ・ がん対策基本法施行
- ・ がんプロフェッショナル養成事業

2022年10月現在

専門看護師2901名

(うちがん看護は980名)



外来における実践活動

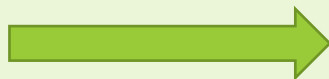
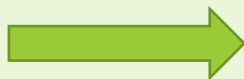
- 主に婦人科がん患者さん、乳腺外科のがん患者さんの治療方針の選択及び意思決定決定を支援しています。
- 患者さんの身体的側面だけではなく精神面、社会面サポートが必要な状況を関係者で共有し、サポートの方向性を調整しています。
- 病棟カンファレンス、外来カンファレンスに参加し、スタッフと患者さんの情報の共有を図っています。

サポートの実際

- バッドニュース
- 不安がとても強い
- 状況が受け入れられず混乱している

- 混乱する患者の精神状況をアセスメント
- 患者の思いの傾聴、医師の説明の理解をサポート
- 必要時継続してサポートを実施する

外来での関わり、病棟で患者を見る視点など視点が違うからこそ協働って大切!!



外来看護師

外来看護師または主治医から連絡を受けて治療説明に同席する

がん看護専門看護師



外来-病棟共有カンファレンス

中8婦人科病棟・外来における実践活動

循環器内科との混合病棟ですが、**主に婦人科がん患者さん・ご家族のQOL向上に寄与するために**病棟と外来連携の強化を目指しています！

①治療中～安定期にかかわらず長期的なフォローアップ体制の構築

- ・入院での手術や抗がん剤治療が一段落して、外来のフォローアップに移行する際に「**生活における質問票**」をお渡ししています
- ・退院後初めての外来受診時に、看護師が「質問票」をもとに身体面・心理面・生活に関する気がかりについてお伺いします
- ・必要時、2回目以降の外来においても、多職種（主治医・外来看護師・地域ネット・がん看護専門看護師…）で連携し、患者さんの個別性のある気がかりをサポートする体制を整えています



入院中の患者さんを知る
病棟看護師が1人
毎日外来に降りています

②ACP（アドバンス・ケア・プランニング）につながる意思決定支援の強化

- ・入院中患者さんの今後の治療や療養に関する価値観や希望を共有するために「**ACP票**」をお渡ししています
- ・仕事、育児、家事、趣味といった患者さんの大切にしていることを伺いながら、どのように治療療養していきたいかを一緒に相談していきます

がんゲノム特別外来,がん診療部外来における実践活動

①京大病院がんゲノム特別外来 (2019年11月より開設)

【患者来院回数:3回】

Visit 1:検査説明

Visit 2:検査申し込み、同意取得

Visit 3:結果説明

【外来に携わる人員構成】

□がんゲノム担当医:腫瘍内科から数名、
各診療科から2名 (主担当・副担当)

□がん看護専門看護師:2名 (兼任)

□がんゲノムコーディネーター:3名

【外来開設に向けた取り組み】

- ・ 受診前がんゲノム検査に関する動画 (国立がんセンター提供) 視聴と理解度のアンケート作成
- ・ 家族歴の調査票作成 (受信前に記載)
- ・ 看護師による事前説明 (検査の種類、検査期間、治療に結び付く割合、二次的所見、料金等)
- ・ 調査票から家族歴の詳しい聞き取り



Outcome

※患者さん役はスタッフです

看護師の役割

○意思決定支援

- ・ 検査説明、検査の理解度の確認
- ・ 病状の確認、不安の表出
- ・ 精神的ケア
- ・ 必要時緩和ケア等に関する情報共有

○がんゲノム検査後の支援

- ・ 検査結果に結びつかなかった場合の精神的ケア
- ・ 二次的所見が見つかった場合の遺伝診療部への橋渡し

○包括的ケアの提供

- ・ 症状緩和コントロール等の相談
- ・ 緩和ケア・療養場所の情報提供
- ・ 精神的ケア
- ・ 他職種、他部署スタッフとの連携



- ・ 医師の診察時間の短縮
- ・ 患者・家族とコミュニケーションの増加

②がん診療部外来でのアドバンス・ケア・プランニング支援

- ・ 医師、看護師、他職種と連携、精神的ケアや今後の療養場所等の意思決定支援の実施
- ・ 在宅医療者と情報共有、調整を行う

腫瘍内科・放射線治療科病棟、 外来化学療法室における実践活動

腫瘍内科 放射線治療科病棟



- ・ 外来で化学療法を始める前に、患者さんにはオリエンテーションを受けていただいています。
- ・ 通院しながら外来での化学療法を続けていけるように医師、薬剤師、栄養士、社会福祉士等と一緒に患者さんそれぞれに応じたサポート体制を検討しています。
- ・ 必要な時には病棟スタッフとも情報を共有し連携を図っています。

- ・ 固形がん、希少がん、原発不明がん等に対する化学療法や放射線治療を入院して受ける患者さんのケアを行っています。
- ・ 治療による副作用や疾患による症状等が複雑化、困難化している場合の相談を受けています。
- ・ 治療方針やケアについて多職種で（医師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、作業・理学療法士）検討できるように調整しています。

副作用が不安

仕事が心配

家事はできる？

外来化学療法室



※患者さん役はスタッフです

治験病棟における実践活動

臨床試験をとおして、未来の医療や看護を創造する



- 患者さんが抱える臨床試験特有の期待と不安を理解することに努めています。

特に標準治療の効果がみられなくなった患者さんにとって、臨床試験は“希望”です。効果に対する期待、未来の治療に貢献したいという患者さんの気持ちを大切にして、治療、ケアにあたっています。

- 治験病棟（Ki-CONNECT）で働く看護師は、バイタルサイン測定や採血、与薬など基本の看護技術すべてが将来の治療につながることを自覚して、知識を蓄え、技術を磨く努力が必要となります。

採血の練習

治験では正確性、確実性が求められます。複数の看護師が決められた役割と手順を確実に実行するために練習を繰り返します。



Ki-CONNECT
次世代医療・iPS細胞治療研究センター
Kyoto Innovation Center for Next Generation Clinical Trials and IPS Cell Therapy

京都大学で働くがん看護専門看護師の教育活動

教員

ダブルアポイントメント教員として、病院6割、大学4割の比率で活動をしています。

□ 病院における活動

- がんによるリンパ節郭清術後に生じるリンパ浮腫の看護外来を担当しています。
- 院内の臨床倫理委員会主催の倫理ラウンドや、看護部緩和ケアプロジェクトの中でがん看護に関する活動を行っています。
- 院内のメンバーと共に、がん看護教育に関する研修企画に関わっています。

教授

先端看護科学コース緩和ケア・老年看護学分野で教育に従事しています。週1日、病院で活動しています。

□ 病院における活動

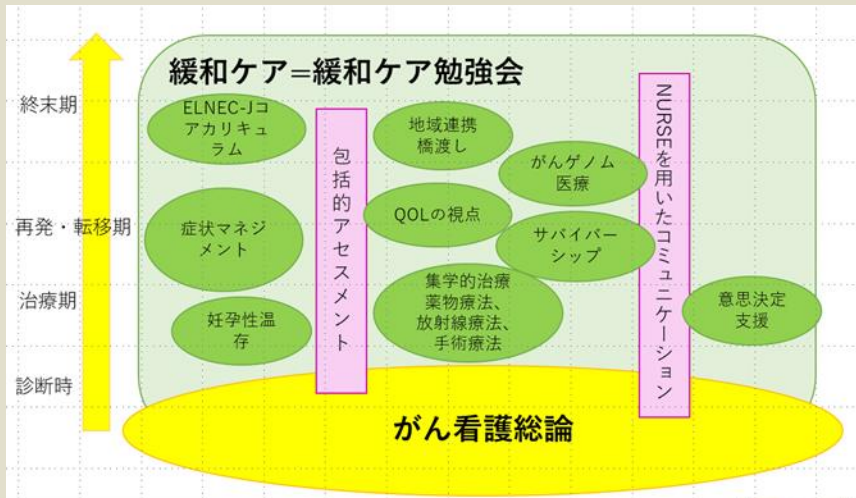
- 緩和ケアチームのメンバーとして依頼のあった病棟でコンサルテーション活動を行っています。
- がん相談支援センターで、患者さん、ご家族、遺族の方の相談やケアを行っています。
- 院内の看護師とともに、がん看護に関する研修、委員会活動に従事しています。



がん看護専門看護師による院内/外での教育活動

- がん看護レベルアップ研修（院内研修）
- がん看護ジェネラリストとして臨床実践能力の向上を目指す
- 全3日間の研修（講義＋グループワーク＋見学）

- ELNEC-Jコアカリキュラムの開催（京都府下がん診療拠点病院などで連携してオンライン開催）
- がん看護専門看護師、認定看護師などの協力を得て企画・運営を行う



▲京大病院 がん看護教育 概念図



▼実際の見学の様子

【ロールプレイ・前半グループ】今心に残っているキーワードを1つ教えてください。

0 3 3

患者の様子を伝える 関心を示している様子
患者や家族の不安は揺らぎが多くすぐには言い表せない
向き合う時の態度 関心を持ち続ける事 信頼関係作り
患者さん主体 ケアリング 寄り添い
よりそう 沈黙の意味 共感 良い間の取り方
沈黙 沈黙のスキル
非言語的コミュニケーションの重要性 寄り添う
気持ちの整理 関心を持つこと 家族にも寄り添う
看護師の思いを押し付けない 寄り添ってくる
目標を応援してもらえて症状を話すことが出来た
患者さんが持っていない情報を提供する

オンラインでも双方向性の講義となるようにSlidoという投票機能があるアプリケーションを利用など工夫してます！

End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan
ELNEC-J
コアカリキュラム看護師教育プログラム
in 京大病院 2020

～ケアの質を改善～ Module 7 喪失・悲嘆・死別
★ Module 8 臨死期のケア

する機会は今後にある！一緒に取り組む仲間と教えよう～
ELNEC-JコアカリキュラムとはEnd-of-Life-Nursing-Consortium Japanの略です。
ELNECは、疾患や対象に問わず、エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力獲得を目的として、米国で開発されました。ELNEC-Jコアカリキュラムは、日本の文化・実情に合わせて内容を充実した系統的・包括的な教育プログラムです。

★ Module 1 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護	★ Module 6 コミュニケーション
★ Module 2 癌のマネジメント	★ Module 7 喪失・悲嘆・死別
★ Module 3 症状マネジメント	★ Module 8 臨死期のケア
★ Module 4 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題	★ Module 9 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア
★ Module 6 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮	★ Module 10 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成

※両院向けではなく、グループワークを通じて、各自からの実践に役立つ内容となっています！

開催日 2021年1月9日(土)9時30分～16時00分/10日(日)9時30分～16時15分
方式 ZOOMを用いたオンライン形式
対象者 京都大学医学部附属病院に勤務する看護師経験3年以上の看護師
※がん看護経験の有無は問いませんが、研修に当たる事柄はがん患者です。
※完全オンライン化により、パソコンでの状態が可能な方に限ります(別途通信料金は個人負担)。
※同一部署で多数参加の場合は、調整させていただきます。
※2018年度からELNEC-Jコアカリキュラム看護師養成プログラムの参加費に、
「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの修了費」が追加されています。

募集人数 20名 ※募集期間後、決定通知を各受講生に送付します
申込方法 電子申請
申込締切 2020年12月10日(金)
参加費 無料(オンラインにおける通信費は個人負担)
※ご自身の通信環境が整っていない方は別途相談にのります。

主催 京都大学医学部附属病院 看護部・がんセンター
後援 京都大学大学院医学研究科 がんプロフェッショナル養成機構看護学プログラム
【問い合わせ先】
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター 中井
TEL: 075-751-4839 FAX: 075-751-3091 MAIL: hystoebec@mail.com

がん看護専門看護師は、 こんな看護を大切にします

- 患者さんが生活の中で大切にしていることを踏まえた上で、納得のいく治療の選択が出来るように支援します
- 治療中の療養生活に不具合が生じないようにチーム医療を推進します
- 院内にいる専門看護師や認定看護師と協働し、看護のボトムアップが図れるようなシステムを構築していきます
- 臨床研究を推進して、エビデンスを創りだしていきます

